

恋愛

# 鑑定書

彩花様

2027年〇月〇日

占いの秘書



彩花さん、夜の海で舟を漕ぐような、心細い日々をお過ごしだったのですね。相手の姿が見えず、進むべきか戻るべきか迷うその時間は、決して無駄ではありません。あなたが大切に想い、言葉を選び、立ち止まって考えを巡らせてきたその思慮深さを、私はしっかりと受け止めさせていただきますね。

今回、易の卦を立てたところ、現状は「水山蹇」の姿が見えます。これは険しい山を前にして足が止まる、あるいは水の中に足を取られるような、停滞の時期を意味しています。しかし、その先には「雷水解」という、氷が解けて流れが動き出す、希望の兆しがしっかりと示されていますよ。

今は停滞しているように見えても、それは運命が次のステージへ向かうための、大切な準備期間なのです。

「水山蹇」の卦が出るときは、焦って無理に船を進めてはいけません。水面が荒れているとき、無理に漕ぎ出せば舟は座礁してしまいますよね。今は、あなたという器を、一度静かに濾過して整えるときなのです。自分の内側に溜まった不安や焦燥を丁寧に取り除き、心という水面を穏やかに保つこと。

それが、今のあなたに必要な修繕作業です。相手の気持ちを読み取れないのは、相手の心がまだ閉じていたり、相手自身が自分の波に翻弄されていたりするからかも



しません。あなたの魅力が足りないわけでも、間違った行動をとったわけでもないのです。

今は、相手を変えようとするのではなく、自分自身の水面を風の状態に保つこと。そうして準備を整えていれば、必ず雷が鳴り、停滞が解ける時はやってきます。信じて、もう少しだけ深呼吸をしてみてくださいね。

運命の潮目は、あなたの選択によって形を変えていきます。今、あなたの前には、羅針盤のように三つの分岐路が浮かんでいます。今後の過ごし方について、一つの可能性として胸に留めておいてください。

一つ目は、焦らずに「待つ」という選択肢です。今は無理に相手の海へ飛び込むのではなく、自分の岸边に留まり、相手が自らこちらの潮流に気づくのを待つのです。連絡を控えることが、結果として相手の心を落ち着かせ、あなたへの信頼を再構築するきっかけになるでしょう。

二つ目は、今の想いを一度「沈めて」整理する選択肢です。相手への執着という重荷を一度手放し、日常の波を穏やかに暮らしてください。あなたが自分らしく、軽やかに振る舞う姿こそが、相手の視線を惹きつける最強の灯台となります。執着を手放したとき、不思議と運命が動き出すことはよくあるのですよ。

三つ目は、小さな「兆し」だけを届ける選択肢です。相手の負担にならない程度の、ごく日常的な挨拶や言葉を静かに投げるのです。それは荒波を立てるものではなく、あくまで水面に静かに浮かぶ小石のようなもの。相手がその波紋に気づいたとき、停滞していた関係が一気に動き出すきっかけになるかもしれません。

以下は古来の象意に基づく開運の指針です。停滞を解くためには、静寂を味方につけるのが良いでしょう。ラッキーカラーは水面を映すような青色や、心を鎮める白色です。数字では「六」という数が、調和と安定をもたらす数字としてあなたの背中を押してくれます。

方位としては、静かな湖畔や川沿いを散歩し、流れる水に身を置く時間が、あなたの直感力を高めるでしょう。これらを日々の暮らしに少し取り入れるだけで、あなたの心はよりしなやかな器へと整えられていきます。運命の波は、今はまだ静かですが、あなたの準備が整えば、雷が鳴り響き、堰を切ったように流れが動き出します。

どうか焦らないで。満ちるときは、ちゃんと来ますから。